

事例

ゲームを通じた食育体験学習で食の知識を深める
(第8回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)

株式会社ライフコーポレーション (東京都)

株式会社ライフコーポレーションは、地域の皆様とともに持続可能で豊かな社会の実現を目指すべく、店舗近隣の小学生・園児を対象に食べることの大切さを伝える「食育体験学習」を行っています。

食育体験学習では、イベントやゲームを通し、食べ物の働きや、不足しがちな野菜、果物の摂取量、食べ物の生産から消費までのフードチェーン、食品ロス削減と環境問題等、様々な食の知識を深めています。さらに、自社単独での取組にとどまらず、取引先様等とのコラボイベントも多数開催することで、食品メーカーのノウハウやコンテンツも活かしながら幅広く食育活動に取り組んでいます。

店舗で実施する親子向けのイベントでは、参加者が野菜売り場からミッションに沿った野菜を探すゲームを実施しています。参加者は、まず、野菜の育ち方について、分かりやすいイラストを使った説明を受け、その後、実際に野菜売り場で「実を食べる野菜」や「根を食べる野菜」等ミッションに沿った野菜を探します。ゲームを通じて野菜を身近に感じることができ、野菜の育ち方についても学ぶことができます。

令和2(2020)年2月以前は、店舗にてゲーム形式の体験学習を実践していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で行動制限が掛かってからは、講師が学校へ出向いて授業を行う「出前型」及び「オンライン型」に切り替えました。これにより、活動を止めることなく実施回数を増やすことができ、令和4(2022)年度には過去最高の参加者数まで拡大しました。

出前授業のプログラムの中には、「てまえどり」等の食品ロス削減に関する内容も取り入れています。また、こどもたちが楽しく学びを深められるよう、「参加型・体験型」の授業を展開し、プログラムはその時に合わせた情報や学校の要望を取り入れ、定期的な見直しを行っています。

今後は、生産者等と連携した企画の開発や幅広い年代の方へ向けた取組を実施していきたいと考えています。引き続き、情勢に合った「食」と「地域貢献」を軸に、食育活動に取り組んでいきます。



野菜を探すゲームの様子



食品ロス削減の必要性を授業で伝える様子